

# 祝「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界文化遺産登録決定！



北秋田市の伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、7月27日にオンラインで開催された世界遺産委員会世界文化遺産に登録されることが決定しました。

北秋田市文化会館で行われたパブリックビューイングには、市民や伊勢堂岱ワーキンググループ、ジュニアボランティアガイドなどの関係者ら約100人が集まり、決定の瞬間には会場が大きな拍手で包まれました。

記念セレモニーでは津谷市長が「記念すべき瞬間にこの場にいる皆さんと立ち会えたことを幸せに思う。世界文化遺産に登録になったことがゴールではなく、これからがスタート。遺跡を保存して魅力ある活用をしていくことが私たちの責務である。今後皆さんからのご支援ご協力をお願いします」などあいさつしました。

最後には、パブリックビューイングの参加者全員で「祝！世界遺産登録！！」と書かれたうちわを手にして万歳三唱を行い、登録決定の喜びを分かち合いました。

## 関係者から喜びのコメント



伊勢堂岱遺跡  
ワーキンググループ  
佐藤善壽代表

本会は、伊勢堂岱遺跡が現地保存になった直後の平成9年から活動してきました。

当時は発掘調査のままでも、だれもこの遺跡が世界遺産になるとは考えていなかったと思います。

そして今回「おらほの遺跡」が「世界の遺跡」になりました。この20年以上の活動を一言で表すことはできませんが、今は率直にうれいす。

先人が残してくれた貴重なこの遺跡を、引き続き発信していきたいと思ひます。



伊勢堂岱縄文館  
中嶋俊彦館長

世界文化遺産登録という長年の宿願が成就され、まさに感無量です。

これまで伊勢堂岱遺跡に関わり、ご尽力ご支援をいただいた全ての皆さんに心より敬意を表すると共に、感謝申し上げます。

人類共通の世界遺産がふるとあるというのはすばらしいことです。

私たちはこれからも、伊勢堂岱遺跡の魅力や価値を多くの皆さんに知っていただくための活動を続けていくと共に、遺跡を大切に守り、後世に継承していきたいと思ひます。



伊勢堂岱遺跡  
ジュニアボランティアガイド  
米山那奈さん

ジュニアボランティアガイドの活動が始まって7年経った今年、念願だったふるさとの遺跡の世界文化遺産登録が叶い、うれしい気持ちでいっぱいです。

たくさんのお客様に来ていただきたいのですが、新型コロナウイルスのまん延が本当に残念でなりません。これからさらに遺跡の魅力・素晴らしさをより多くの皆さんに知ってもらいために、たくさん情報発信をしていきたいと思ひます。



登録決定後もジュニアボランティアガイドが活躍！



▲世界文化遺産登録を喜び合う



▲決定の瞬間会場が大きな拍手で包まれる



▲関係者から喜びの言葉



▲参加者全員で万歳三唱